全国空手道選手権大会

６月26日、27日東京体育館で行われた内閣総理大臣杯第53回全国空手道選手権大会（高校生女子、形の部）で、笠間市の深谷安里紗（ありさ）さん（福原）が全国制覇を達成しました。

また、同大会で白石詩織（しおり）さん（箱田）が４位に入賞しました。

２人は共に高校３年生で、笠間空手道スポーツ少年団に所属しています。１日の練習時間は６～７時間に及ぶという２人、全国の舞台での大活躍おめでとうございます。

左：白石さん　右：深谷さん

北川根小が工事現場見学会を行いました

７月１日、北川根小が湯崎地内の工事現場を見学しました。

市内の建設会社の協力によって実現したもので、郷土の道路計画や、自分の住む地域がどのように発展するかを学ぶことを目的として行われ、５年生約60名が参加しました。

民間企業と学校、行政が一体となって次世代を担う子どもたちに教育の場を提供できたことは非常に意義深いことではないでしょうか。

記念撮影の様子

「鯉淵公園」の維持管理に関する協定を締結

７月14日、柿橋地区にある「鯉淵公園」の維持管理について、市と同地区が協定を結びました。

協定の内容は、市と地域住民が協働で公園の維持管理を行うもので、園内の清掃や草取り、児童の安全・遊びに関する指導を地元の皆さんにお願いするというものです。

この協定により、地域の連帯感の向上や交流の促進、また、公園に対する愛着が深まることから、利用者のモラルの向上などの効果が期待されます。

左から、綿引さん、田村さん、仲田都市建設部長、市毛さん

笠間市みどりの広場がオープン

畜産試験場跡地の有効活用のため、跡地の一部を暫定的に７月16日より「笠間市みどりの広場」として、一般開放を始めました。

広場は跡地の北側約2.9haに駐車場やトイレを設置し、樹木の整理により明るく開放的な空間となりました。イベント等の開催による交流の場や銀杏並木の散策など市民の憩いの場になることが期待されます。

＜開園時間＞

４月～11月　午前８時30分～午後６時30分まで

12月～３月　午前９時～午後４時まで

銀杏並木が整然と並ぶ笠間市みどりの広場

まちの話題

親子のきずなを深める手びねり体験

第60回「社会を明るくする運動」の一つとして、水戸保護観察所と笠間市推進委員会により親子手びねり体験教室が７月３日笠間工芸の丘で開かれました。笠間地区保護司会（菅谷輝夫会長）と笠間市更生保護女性会（齊藤璋美会長）が笠間らしさを取り入れた行事として企画したもので、市内の小中学校から55組の親子が参加し、手びねり体験を楽しみました。

手びねり体験を楽しむ参加者

クラインガルテン七夕感謝祭

７月３・４日の２日間、笠間クラインガルテンで七夕感謝祭が開催され、新鮮野菜の詰め放題や流しそうめん、餅つきなどが行われました。

また３日は同会場で梅まつりも開催され、37名の参加者が、梅干漬け講習や料理講習会に参加し旬の味覚を味わいました。

おいしいお餅にな～れ！

AWIディスクドッグ大会が開催されました

７月11日、笠間芸術の森公園においてAWIディスクドッグ大会国内予選・笠間大会が開かれました。ディスクドッグとはプレイヤーが投げたフリスビーを犬が取りに行く競技で、飛距離や、技の難易度を競います。関東近県はもとより岐阜や愛知など遠方から、合計101チームの参加がありました。

人間と犬の織りなすバラエティに富んだパフォーマンスの数々に、多数の観客から惜しみない拍手が送られました。

ナイスキャッチ!!

ファンタジックステージが開催されました

まゆみ朗読会によるファンタジックステージ「星物語をあなたに」が、７月４日、あたご天狗の森スカイロッジで開催されました。

平成19年から定期的に開催されている朗読会で、今回は夜空に輝く星座にまつわる物語９話を、主にギリシャ神話から選んで読みました。

参加した人々は、幻想的な物語に思いを馳せ、しばし時を忘れたようでした。

次回は８月29日に友部公民館で恒例の朗読劇「遺されしものの想い」を開催予定です。

まゆみ朗読会のみなさん